

2021年に博進堂は 創業100周年を迎えます！

博進堂は大正10年に新潟市旭町で、手刷りのコロタイプ印刷機1台と3名の社員で創業しました。大正7年に第一次世界大戦が終わり、戦後バブルから一転して戦後恐慌が巻き起こった大正9年の翌年のことです。あれから99年が経ち、来年12月で創業100周年を迎えます。長い歴史の中には苦しい時期、変化する時期が数えきれないほどにありました。それら乗り越えてこられたのは、他でもない当社をご愛顧くださるお取引先様、地域の皆

様、そして、支え合える社員に恵まれたからだと感じております。

今、世の中はコロナ禍で見通しが持てずに不安なニュースで溢れています。私たち博進堂はこれまでの100年の歴史に心から感謝し、そして、次の100年先の未来に希望が持てるような活動をしていきます。社内外に向けて様々な企画を打ち出していきますので、乞うご期待ください！

取締役専務…清水隆太郎



ピンチはチャンス！

コロナ禍で

起こった

新しい動き

について

こんにちは、営業部金子です。4月から1回も出張に出ていないのは入社以来初めてだと思えます。世の中はコロナ禍で非常に厳しい状況です。そんな中、私が感動した取り

組みをご紹介します。

私がフォローしているInstagramのアカウント「@DJ_HASEBE」HASEBE(olantak)さんがいます。有名なDJでR&BやHIPHOPのリミックスなどで90年代より活躍されているDJです。

緊急事態宣言下、DJのイベントもすべて中止となり、何かできないかとHASEBE氏はインスタライブを始めました。毎週末の金、土、日曜日の20時から24時までインスタライブを行うのですが、参加している視聴者もコメントを残すことができ、5つのまにかDJ HASEBE氏のコミュニティが出来上がっています。参加者の好き勝手なコメントにも答えてくれたり、また投げ銭システムでのリクエスト方式の導入(リクエストがかかると超うれしい)、ついにはコメントをして楽しんでる視聴者を「おコメ」などと呼び、一方通

行ではない双方方向のコミュニケーションが生まれています。最終回では、このコミュニティのために曲をつくり発表までしてくれました。おコメTシャツも発売されて私も購入しました。現在はInstagramからYouTubeへと場所は移動になりましたが、音質と画質がグレードアップしています。

そんな体験の中で私が感じたことは、コロナ禍での厳しい状況をただ嘆くのではなく、今この現状で出来ることは何かを模索しチャレンジすることでした。お客様の気持ちに寄り添うような営業活動を行っていきたいと思っています。



営業部…金子

はくしんどう時間

vol.1

“はくしんどう時間”は博進堂の“今”をお届けするニュースレターです。



“中小企業白書”掲載

この度、国が発行する「2020年版中小企業白書」に働き方改革の事例として博進堂が掲載されました。博進堂では独自の人事制度である「トルネード人事」を導入し、繁閑差に合わせて部署間異動を行い業務の平準化を図っています。また、工場案内を併わせて行い、他部署間の製造工程の理解度向上とワークシェアリングに繋がっています。他にも設備投資により生産効率を改善し、その結果繁忙期の残業時間を20%削減しました。また、女性社員で構成される「チームBIANCA」(2017年発足)の活躍など、女性が家庭と仕事を両立し活躍できる環境にも力を入れています。今後もより一層社員一人ひとりが輝けるような活動を進めていきます。



チームピアンカ



Open ART FACTORY(工場見学会)の様子

博進堂の活動はまだまだあります！



博進堂HP
<https://www.hakushindo.jp/>



博進堂Facebook
<https://www.facebook.com/hakushindo/>



hakushindo CAMPUS
<https://www.hakushindo.jp/univ/campus.html>

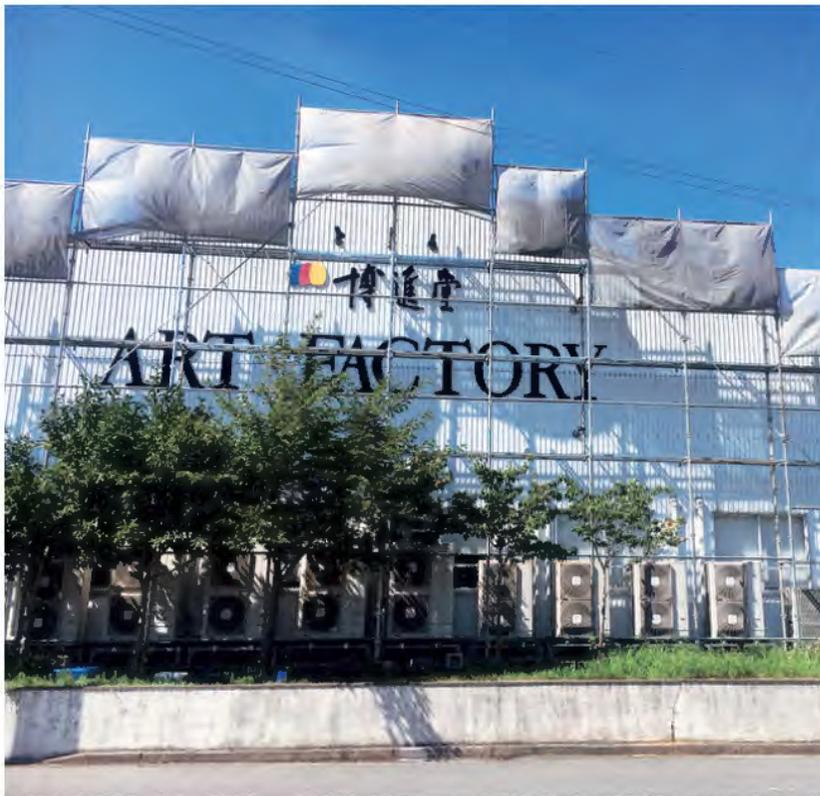


博進堂書籍
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/hakushindo-store/>



ぴいクラブHP
<https://www.pi-club.jp/>

はくしんどう時間 vol.1
発行：株式会社 博進堂
題字：小笠原 麗(アルバム営業)
TEL：025-274-7755



～屋根の葺き替え工事中～ 博進堂の動き

博進堂では、本社社屋の広大な屋根の葺き替え工事を敢行しました。葺き替えることで室内の温度が4～5℃違ってくるそうです。以前のように雨漏りの心配もなくなってすみます。それに併せて社内各部署レイアウトの変更を行いました。職場環境を機能的に、また快適に整えて、お客様に高品質な製品を迅速にお届けしてまいります。

経営部・野島

答えを出すための 刺激、仕事場の レイアウト。

コロナウイルスにも対応

組織も仕事も常に化する。ここでどんな仕事をするのか？「誰のため、何のために、どのように」職場は人生の中で最も多くの時間を過ごし、期待と成果を求められる場所に違いありません。整理と気持ちの切り替えに、否応ない変化も目の前の物が

目に入らなくなる状況にはいい機会でしょう。人は「やりとり」や「関わり合い」から生まれるものに価値を見出します。行動していることや、思っていることの多くは会話の中に現れます。思考は話すことで、表に出てきます。逆にいえば、話さなければ、思考を具体化するのには難しいということ。物理的にも距離を取らざるを得ない昨今、どうにかして関わり合う機会を増やす仕事の形が

求められているのも頷けます。問題解決が仕事だとしたら、実際の体験からの関心が向き合う事はなかなか難しいものです。答えは、理論ではなく、一人ひとりの身体の中にたくさん積み重なっているリアルな生活の断片にあり、必然的に向き合ったその人の中にある声を聴く場こそが仕事場でありたいと願っています。

経営戦略本部・岡崎